

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本史
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合理工学科(先進科学系)		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『新日本史A』 (実教出版)					
担当教員	野崎かほる (一般)					
到達目標						
1. 近代日本の政治・外交の基本的な特色と変動の過程を理解する。 2. 近代日本資本主義の構造的な特色と変動の過程を理解する。 3. 近代日本社会の変動の過程を理解する。 4. 個別的なできごとの考察を通じて、普遍的・地球的な視野を獲得し、それにもとづいて主体的に生きるための判断力をつちかう。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基本的な概念やできごとを知識としておさえられている。		歴史的な概念やできごとについて、基本的な知識は習得できている。		歴史的な概念やできごとについて、基本的な知識が習得できていない。	
評価項目2	歴史的な事象の構造、できごとの因果関係や影響について理解できている。		歴史的な事象の構造、できごとの因果関係や影響について大筋が理解できている。		歴史的な事象の構造、できごとの因果関係や影響について理解できていない。	
評価項目3	獲得した知識理解の上になんて、自分独自の見解や新しい問題を示すことができる。		獲得した知識理解の上になんて、独自の見解や新しい問題を示すことができる。		知識理解が定着しておらず、独自の感想も問題関心も持てない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要						
授業の進め方・方法						
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	●シラバスによるガイダンス、日本近代の出発点 開国			
		2週	●日本の近代化 (1)			
		3週	●日本の近代化 (2)			
		4週	●極東諸国と日本 (1)			
		5週	●極東諸国と日本 (2)			
		6週	●日露戦争と日本 (1)			
		7週	●日露戦争と日本 (2)			
		8週	(前期中間試験)			
	2ndQ	9週	●経済と社会のしくみの特色 (1)			
		10週	●経済と社会のしくみの特色 (2)			
		11週	●帝国と植民地 (1)			
		12週	●帝国と植民地 (2)			
		13週	●第一次世界大戦と日本 (1)			
		14週	●第一次世界大戦と日本 (2)			
		15週	(前期末試験)			
		16週	●前期末試験の返却と解答解説			
後期	3rdQ	1週	●二つの大戦の間の日本 (1)			
		2週	●二つの大戦の間の日本 (2)			
		3週	●二つの大戦の間の日本 (3)			
		4週	●二つの大戦の間の日本 (4)			
		5週	(後期中間試験)			
		6週	●日中戦争と日本 (1)			
		7週	●日中戦争と日本 (2)			
		8週	●アジア・太平洋戦争と日本 (1)			
	4thQ	9週	●アジア・太平洋戦争と日本 (2)			
		10週	●占領下の日本 (1)			
		11週	●占領下の日本 (2)			
		12週	近代日本を生きた人たち (1)			
		13週	近代日本を生きた人たち (2)			
		14週	近代日本を生きた人たち (3)			
		15週	(後期末試験)			
		16週	●後期末試験の返却と解答解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
基礎的能力	25	0	0	0	0	0	25
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10
専門的能力	15	0	0	0	0	0	15